

九都県市が エコドライブ講習会

11月に埼玉、東京、千葉、神奈川で

燃料電池車や電気自動車の試乗も

首

都圏の9自治体で構成する九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)は11月、東京など4カ所で一般の人を対象にしたエコドライブ講習会(エコトレーニング)を開催する。

この講習会では、日本自動車連盟(JAF)や自動車教習所と連携し、環境に優しく、燃費の改善や安全運転にもつながる運転方法「エコドライブ」を分かりやすく学ぶことができる。

会場は、①埼玉県がさいたま市の埼玉県自動車学校(11月13日)、②東京都が東久留米市の東久留米自動車教習所(11月14日)、③千葉県が船橋市の船橋中央自動車学校(11月20日)、④神奈川県が座間市の都南自動車教習所(11月27日)。

各会場とも開催時間は13時から17時まで。募集人員は各会場とも21名。参加費は1,028円。いずれの会場でも、個別指導による実車講習、燃費計を使用した運転診断、運転診断の結果と個別指導、水素で走る自動車などの同乗体験ができる。

問い合わせは、九都県市首脳会議環境問題対策委員会大気保全専門部会(TEL.042-769-8241)か、日本自動車連盟東京支部(TEL.03-6833-9130)まで。
[東京都自動車会議所]

法税制・公益事業・情報 の合同委員会及び 施設見学会を開催

富山県自動車会議所

富

山県自動車会議所は8月25日、富山市新庄町の富山県自動車会館において、法税制・公益事業・情報委員会の合同委員会を開催するとともに、委員会終了後、施設見学会を行った。



合同委員会は、委員長に情報委員長である富山トヨベットの野上淑弘取締役経理部長を選出し議事に入り、法税制関係では、平成30年度国・県予算に対する要望事項の検討審議が行われ、自動車関係諸税の簡素化・軽減、道路整備計画の策定とその実現など10項目の要望事項が取りまとめられ、国、県等の関係機関(9機関)へ提出することを決定した。

公益事業関係では、今年度実施する交通安全活動7事業、環境保全活動5事業の具体的な活動計画について報告し、情報関係では、国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局の水越憲充首席運輸企画専門官をお招きし、OSSの進捗状況等の最新情報を聴講した後、意見交換を行った。

次に、同運輸支局の唐崎光博首席陸運技術専門官をお招きし、自動車点検整備の推進等について強化月間である9月・10月にあたり、その推進と取り組み、その他保安基準改正関係について聴講し、委員会の終わりには、秋の全国交通安全運動について、各委員の所属する団体や企業が積極的に取り組むことを再確認し委員会を終了した。

また、合同委員会に引き続き実施した施設見学会では、富山市が資源循環型まちづくりの実現のため造成したエコタウンを視察、管理棟がある交流推進センターにて、エコタウン事業について説明を受けた後、タウン内のリサイクル施設7社のうち、食品廃棄物などをバイオガス化技術により電気エネルギーを発電している富山グリーンリサイクルと、地球温暖化の要因となっているCO₂削減を図ることを目的に自社において考案した、大量処理が可能な電気式マルチ解体機を使って自動車解体を行っている日本オートリサイクルを見学、委員からは、「あらためてリデュース、リユース、リサイクルの大切さを実感した」などの声が聞かれ、今後の環境活動に繋がる大評判の見学会となった。